

2024
Vol.32

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital

新病院開院 特集号



正面玄関



3F デイルーム

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足し、
医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 地域医療への貢献
- ◆ 情報技術を基盤にした国際化の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院
の理念に基づいた、公平で良質な医療
を提供することを目指します。



新病院正面全景

病院長ご挨拶 2

新設 婦人科紹介 2

各診療科紹介 4

院内設備紹介 10



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital

2024年3月 新病院開院



九州大学病院別府病院 病院長

三森 功士

九州大学病院別府病院 病院長を拝命しております
みもりごとし
三森功士でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

弊院は昭和6年より九州帝国大学温泉治療学研究所の診療科として発足して以来、最新の知識/技術/機器を擁する九州大学本院のクオリティを別府市にて展開する、難治性疾患に立ち向かう最後の砦としての大学病院の役割を自負してまいりました。その一方で、開院以来ずっと地域の先生方にお支えいただいて成り立っている医療機関でございます。先生方のお困りの折にこそお役に立てる病院でありたいと考えていますので、引き続き、変わらぬご愛顧とご指導ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、当院は最後の改築から半世紀が経過し、近年目に見える形で老朽化が進んでまいりましたが、このたび別府地区九州大学病院の再開発が実現する運びとなり、令和6年3月1日に新病院を開院することができました。さらに4月1日からは、長らく診療を取りやめておりました婦人科を再開することができました。これにより、内科(リウマチ・感染症内科、循環器内科、腫瘍内科、消化器内科)、婦人科、整形外科、放射線科(画像診断、放射線治療)、麻酔科、リハビリテーション科の7科で診療を行ってまいります。

いずれの診療科におきましても難治性あるいはQOLの著明な低下が問題となる疾患を治療対象としています。このような苦しみをもつ患者さん・ご家族に寄り添い、少しでも笑顔を取り戻すことができるように誠心誠意一生懸命頑張りたいと思います。「もし自分あるいは自分の家族が病気になるたら、かかりたい病院」を合い言葉に職員一同、一丸となって頑張りますので、みなさまにおかれましては、厳しく見守りいただきながら、どうか温かいご指導ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



婦人科新設



婦人科 診療科長

園田 顕三

2024年4月に九州大学病院別府病院へ赴任いたしました園田顕三と申します。九州大学病院別府病院での産婦人科診療は2006年5月1日をもって終了しておりましたが、2024年から再開となりました。この節目の時期にお仕事をさせていただく機会を得て、大変光栄に存じます。

さて、現代は2~3人に1人ががん罹患すると言われていますが、婦人科がんの主体を占める子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんも増加傾向にあり、本邦では年間約1万1000人~1万8000人の女性が前述した各婦人科がん罹患しています。婦人科がん治療の歴史においては、診断される際に約半数が進行がんである卵巣がんを含め、手術・放射線・抗がん剤治療による集学的治療が重要視されてきました。この時代背景の中で、基礎研究成果を臨床応用するトランスレーショナル研究を発展させ、新たな診断・治療法の確立による新世代の集学的治療を目指したいと考えています。

また、現在社会において、女性の社会活動は極めて重要な位置付けとなりました。女性が健康的に社会活動を行い得る様に、質の高い医療支援も必要です。当院では女性ヘルスケアも取入れた診療を行いたいと考えています。

赴任したばかりで、周囲のスタッフに支えられながらの医療従事ではありますが、病む方に安心して治療を受けて頂く様努力して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



要望の高かった 婦人科を新設しました



婦人科

診療科長 園田 顕三

対象 疾患

婦人科一般診療	良性腫瘍（子宮筋腫・卵巣嚢腫など）、性感染症 等
悪性腫瘍および 関連疾患	子宮頸部異形成・子宮頸癌、子宮内膜増殖症・ 子宮体癌、卵巣癌、外陰・陰癌 等
女性ヘルスケア	月経困難症・月経不順・更年期障害 等

※不妊治療、産科診療（妊婦健診・分娩など）は行いません。

診療 体制

日本産科婦人科学会の専門医4名（内指導医1名）、日本婦人科腫瘍学会の専門医・指導医1名、日本臨床細胞学会の専門医・指導医1名、日本遺伝性腫瘍学会の専門医1名で専門的な診療にあたります。

診療に際しては、個々の患者さんに最適な治療法をスタッフ一同が他専門診療科とも連携しながら行っています。



診療 方針

患者さんの全身状態・病状を評価し、適切な治療の提供を心掛けます。年齢・合併症を考慮し、必要に応じ専門診療科と相談しながら診療を推進します。悪性腫瘍の診療に際しては、新たに報告されるエビデンスも取入れた治療を行います。

主な 治療等

病気の診断に必要な検査を行い、治療を開始します。検査には、入院して行う手術も含まれます。治療として外来での投薬（抗生剤やホルモン剤など）を行う病気がありますが、悪性腫瘍の場合は手術療法、放射線療法、化学療法の中から適切な治療法を組合わせて行います。





当科では循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、リウマチ・感染症内科の専門医が高い専門性をもって診療にあたるのと同時に、全身を総合的に診ることを大切に、地域のニーズに応えられる総合内科を目指します。

地域のニーズに応えられる総合内科 診療と研究の伝統を生かした専門性

得意分野

循 環 器	循環器疾患（心臓・血管疾患）、睡眠時無呼吸症候群の診療を行っています。これらの疾患のもとになる生活習慣病（高血圧・脂質異常症など）の診療も合わせて行う他、温泉プールを利用したリハビリテーションも施行しています。
消 化 器	食道・胃・十二指腸・大腸をはじめとする消化器疾患の検査と治療を行っています。また、ポリープや早期癌の内視鏡的治療を行っています。
腫 瘍	甲状腺がん、乳がん、膵臓がん、胃がん、大腸がん、肺がんなど、様々臓器の固形腫瘍に対する化学療法、免疫チェックポイント阻害薬治療を行っています。術前・術後化学療法、放射線治療など外科や放射線科とも連携をして集学的な治療を実践しています。がん性疼痛を和らげる疼痛コントロール等の補助療法も並行して行っています。
リウマチ・膠原病	当科では60年以上におよぶ診療と研究の伝統があり、関節リウマチをはじめ多くの自己免疫疾患の患者さんが通院されています。また、リハビリテーションにも力を入れており、国内有数の設備である温泉プールによるリハビリテーションも行っています。
感 染 症	基礎疾患をもつ患者さんの感染治療を適切に行うことを目的として、2023年4月に感染症内科が新設されました。院内の感染対策に加えて、肺炎、尿路感染、蜂窩織炎など様々な感染症の治療を行っています。また、带状疱疹ウイルスワクチンや肺炎球菌ワクチンなど、感染症の予防も行っています。

診療体制

循環器、消化器、がん薬物療法、リウマチなど関連学会の専門医を中心に診療にあたっています。

病棟では毎週内科全体で多職種カンファレンス（医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養管理士、医療ソーシャルワーカー）を行い、包括的診療に取り組んでいます。



診療方針

多彩な分野の専門医が協働して診療を行い、幅広い視点から一人ひとりの患者さんを総合的に診療することを心がけています。

入院中は生活の質（QOL）を落とさないように、薬物治療に加えて生活習慣指導とリハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。

リハビリテーションでは、温泉プールを利用した当院独自の理学療リハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。リハビリテーションでは、温泉プールを利用した当院独自の理学療法を行って治療効果を上げています。

原疾患の治療と再発予防、医療ソーシャルワーカーの介入によって、退院後の日常生活を含めたケアを行っています。



対象疾患

循環器	慢性心不全、心臓弁膜症、狭心症・心筋梗塞、不整脈、肺高血圧症、大動脈疾患、高血圧、睡眠時無呼吸症候群などの循環器疾患
消化器	消化器がん、胃・十二指腸潰瘍、胃炎、逆流性食道炎、炎症性腸疾患などの消化管疾患
腫瘍	甲状腺がん、乳がん、膵臓がん、胃がん、大腸がん、肺がん、原発不明がん、肉腫などの悪性腫瘍
リウマチ・膠原病	関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、血管炎症候群、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病、ベーチェット病、成人発症スチル病、シェーグレン症候群等の自己免疫疾患、遺伝性血管性浮腫
感染症	細菌感染症（肺炎、尿路感染症、皮膚感染症など）、ウイルス感染症（帯状疱疹など）、真菌感染症など各種感染症

主な治療等

循環器	薬物療法、経皮的冠動脈形成術、ペースメーカー植込術、リハビリテーション、持続陽圧呼吸療法（CPAP）など
消化器	消化管薬（制酸剤、粘膜保護剤、消化管運動改善薬など）の内服治療、ヘリコバクター・ピロリ除菌治療、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術
腫瘍	抗がん剤治療、免疫チェックポイント阻害薬、放射線療法、緩和ケア
リウマチ・膠原病	経口抗リウマチ薬、生物学的製剤（抗サイトカイン療法）、標的型合成抗リウマチ薬、免疫抑制剤、副腎皮質ホルモン（ステロイド）等を用いた治療、大量ガンマグロブリン療法、リウマチ性疾患のリハビリテーション、遺伝性血管性浮腫の予防・発作時治療
感染症	抗生剤、抗ウイルス剤、抗真菌剤等による治療、γグロブリン補充療法



消化器癌・乳癌を中心に、地域と連携した高度先進医療を推進しています。
1931年九州大学温泉治療学研究所開所以来、別府地区における九州大学病院外科として役割を担ってきました。消化器癌・乳癌を中心に、福岡の九大本院のみならず地域の病院とも緊密に連携し、大学病院だからこそできる先進医療を推進しています。

がん診療、早期から終末期まで

得意分野

- 腹腔鏡による胃癌・大腸癌に対する徹底的な低侵襲手術
- GISTなど粘膜下腫瘍に対する機能温存を目指した腹腔鏡下低侵襲手術
- 肝胆膵領域の癌などの高度技能を要する外科手術や腹腔鏡下手術
- 乳癌に対する集学的治療(手術、薬物療法、放射線治療)や、乳房再建手術
- 高度進行がんに対する集学的治療(外科治療、化学療法、放射線治療)
- 胆石症に対する低侵襲手術(単孔式)や鼠径ヘルニアに対する内視鏡手術
- 胆膵疾患(腫瘍や胆石等)の検査治療(ERCPやPTCDなど)

診療体制

外科学会指導医3名・専門医5名／消化器外科学会指導医3名・専門医3名／内視鏡外科学会技術認定医2名／消化器病学会指導医1名、専門医2名／消化器内視鏡学会専門医1名／肝臓学会専門医1名／日本乳癌学会専門医2名、認定医1名／マンモグラフィー読影認定3名／乳房再建用エキスパンダー／インプラント責任医師1名／がん治療認定医機構認定医4名

診療方針

早期から終末期までがん診療に特化した科で、根治性を担保しつつ「徹底的な低侵襲」治療を目指します。一方、高度進行がんに対しても化学療法や放射線治療と外科治療を組み合わせた「集学的治療」を積極的におこなっており、基本的に「最後まで根治性をあきらめない」診療をしています。また大学病院として最新知識や技術を患者さんに還元し、お役立ていただくことを心がけています。

対象疾患

消化管外科	食道癌、胃癌、大腸癌、消化管間葉系腫瘍(GIST)、急性腹症など)
肝胆膵外科	肝疾患(原発性・転移性肝癌、肝嚢胞などの良性疾病)／胆道疾患(胆嚢癌、胆管癌、胆道狭窄などの良性疾病)／膵疾患(膵臓癌、膵神経内分泌腫瘍、IPMN、MCN、SPN、SCNなどの膵嚢胞性疾患)
乳腺外科	乳腺疾患(乳癌、線維腺腫や乳管内乳頭腫などの良性腫瘍)
その他一般外科	胆石・総胆管結石、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニア、虫垂炎など

主な治療等

- 消化管、肝・胆・膵、乳腺の悪性腫瘍に対する手術
- 最新の分子標的療法、免疫チェックポイント阻害剤をとり入れた全身化学療法
- 低侵襲治療(腹腔鏡下手術内視鏡的腫瘍切除、ラジオ波焼灼、血管内治療など)
- 高齢者に対する根治性と低侵襲のバランスを考慮した負担の少ない集学的治療
- 最新機器による放射線照射療法(放射線科)



新病院では、フィリップス社製3テスラMRI装置、旧病院よりもより高精度な放射線治療が可能なバリアン社製放射線治療装置など、九大病院本院と同じ装置へ更新しました。これで本院と同等の放射線診療を提供可能となり、スタッフ一同協力してより体に優しい放射線診療を提供してまいります。

九大病院本院と同等の放射線診療

得意分野

各種画像診断装置と高精度放射線治療装置を導入し、主に様々な悪性腫瘍を対象として、画像診断、放射線治療、内視鏡的治療、画像下治療（血管内治療など）に幅広く取り組んでいます。前立腺癌に対する画像誘導放射線治療などの高精度治療（IMRT）を開始し、すでに100名以上の患者さんを、豊富な湯量に恵まれた温泉を備える別府の素晴らしい療養環境で治療しています。低侵襲の大腸検査として注目されているCTコロノグラフィをはじめとした消化管3D-CTを撮影し、胃癌や大腸癌をはじめとした消化管腫瘍の詳細な評価、体動不良な患者さんの消化管評価を行っています。消化管ポリープや、食道癌・胃癌・大腸癌などの早期悪性腫瘍に対する内視鏡的治療にも対応しています。



バリアン社製放射線治療装置▶

放射線治療について

IMRT などの高精度放射線治療を大分県下では他院に先駆けて2009年より開始し、安全性と効果の高い治療を提供しています。4次元CT撮影や呼吸モニタリングシステム、体表を高精度カメラでスキャンし正確な位置照合を可能とするシステムを用いて、精度と効果の高い、体への負担の少ない治療を目指しています。短期間で高い治療効果が望める定位放射線治療は、早期の肺癌に対しては従来より施行していましたが、2024年からは新しい治療装置の導入により、骨などへの小数個の転移やより高い精度管理が必要な脳転移への治療にも対応可能となりました。治療は専従の医師・技師・看護師により対応致しますので、安心して治療を受けていただけます。

診療体制

日本医学放射線学会放射線科専門医4名（診断専門医2名、治療専門医1名）、日本放射線腫瘍学会認定医2名、日本IVR学会専門医1名、日本消化器内視鏡学会指導医1名、第一種放射線取扱主任者免状を2名が保持し、専門的な放射線診療にあたっています。

診療方針

可能な限り低侵襲な画像診断と治療を提供できるよう、各専門医が診療を担当します。さらに、院内各科の専門医師とも緊密に連携し、診療に取り組んでいます。

対象疾患

各種悪性腫瘍など

主な治療等

- 各種悪性腫瘍に対する高精度放射線治療（強度変調放射線治療・画像誘導放射線治療・体幹部定位放射線治療法）
- 消化管悪性腫瘍に対する内視鏡的治療（EMR、ESD）
- 肝臓・胆のう・膵臓や血管狭窄病変に対する、画像介入下低侵襲治療（IVR：経皮的治療・血管内治療）



当院の整形外科では脊椎・脊髄疾患に特化した診療を行っています。新病院の手術室には2つのBCR(バイオクリーンルーム)を設置し、より充実した診療を行っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

最新・最高の技術・知識をもとに 病状や病態に合った治療

得意分野

整形外科が診療する病気の中でも、“脊椎外科”はその技術の進歩が著しく、より専門的な知識を必要とします。坐骨神経痛の原因となる腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術・顕微鏡手術、脊柱側弯症に対する矯正固定術、圧迫骨折に対するセメントを用いた経皮的椎体形成術などの低侵襲手術や最新手術を行っています。

診療体制

整形外科医5名が専門的な治療にあたります（日本整形外科学会・専門医5名、日本脊椎脊髄病学会・脊椎脊髄外科指導医2名）

診療方針

病状や病態は、患者さんによってそれぞれ異なります。手術的治療ばかりではなく、薬物治療やリハビリテーションを含めた保存的治療を、最新・最高の技術・知識をもとに考え、十分な説明と同意のもとに行うよう心がけています。

対象疾患

頸椎椎間板ヘルニア／リウマチ頸椎（環軸関節亜脱臼など）／頸椎症（頸椎症性脊髄症、頸椎症性神経根症）／脊椎靱帯骨化症／脊椎圧迫骨折／腰椎椎間板ヘルニア／腰部脊柱管狭窄症／骨粗しょう症／脊柱側弯症／脊椎・脊髄腫瘍など

主な治療等

内視鏡手術（腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症など）／顕微鏡手術／脊椎固定術／脊柱側弯症に対する矯正固定術／骨粗鬆症性椎体骨折に対するセメントを用いた経皮的椎体形成術など脊椎脊髄疾患全般



麻酔科

診療科長 瀬戸口 秀一



平成5年九州大学卒で、令和6年度から麻酔科診療科長に着任した瀬戸口秀一です。九州大学と佐賀大学で10年間手術部運営に関わった経験を活かし、新病院でも利用する人が安心して納得できる麻酔管理・手術室運営を目指します。

得意分野

手術、検査実施時の麻酔・全身管理がメインですが、病棟での重症な患者さんの循環、呼吸、代謝管理などのサポートも行ないます。

診療体制

外科、整形外科、婦人科の手術治療時に、全ての麻酔管理を麻酔専門医の管理下を実施しています。手術前日に患者さん訪問を実施し、診察と麻酔の説明を行います。

診療方針

手術時の麻酔管理では、安全で最適な麻酔管理を実施します。そのために、手術内容と患者さんの情報を基に、最適な麻酔方法・全身管理を検討し患者さん本人やご家族に説明します。それぞれの患者さんの納得の上で術後の痛みなどストレスが少ない麻酔法を選択していきます。術後の疼痛管理は、担当診療科の主治医と協力して実施します。

主な治療等

麻酔管理に必要な検査は、基本的には入院前後に治療担当診療科で実施します。血液検査、心電図検査、呼吸機能検査、X線検査などがそれにあたります。さらに手術前に麻酔医が、動脈血液検査、心エコー検査など特殊な検査を追加させていただくことがあります。

リハビリテーション科

診療科長 播広谷 勝三



リハビリテーション科では、さまざまな疾患によって低下した身体機能を、個々の患者さんがその人らしく生活できるよう回復を促し、自立した社会生活機能を最大限に向上させるようリハビリテーションを行っています。

得意分野

2011年に開設された整形外科では、脊椎・脊髄疾患に特化した診療を行い、当科では手術前後の運動器リハビリテーションを行います。また、当院の内科の特徴である関節リウマチや心疾患、悪性腫瘍を対象とした「がんのリハビリテーション」を行っています。

診療体制

医師2名と理学療法士5名、作業療法士1名、技能補佐員1名で診療にあたっています。

診療方針

専任医師の指示の下で、さまざまな疾患から生じた機能的および社会的な障害を把握し、インフォームド・コンセントを行った上で、個々の患者さんのニーズに合ったリハビリテーションを提供することを基本方針としています。

主な治療等

疼痛の訴えや身体的・社会的障害に対し、患者さんのニーズに合わせ、徒手療法や物理療法、温泉（水治）療法、作業療法、理学療法、ADL指導などを行い、早期回復・社会復帰の手助けをします。

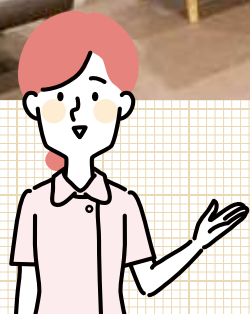
対象疾患

- 脊椎・脊髄疾患（椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症など）
- 関節リウマチ
- 脳血管障害
- 心疾患
- 高齢者の生活習慣病や呼吸器疾患
- 悪性腫瘍（がんのリハビリテーションなど）





待合ロビー



施設・設備の紹介

旧病院では、施設の老朽化や診療スペースの狭さが課題でした。このたび新しくなった新病院の一部を紹介します。

別府湾を一望できる癒しの空間を提供します。



デイルーム



鶴見岳の眺望

雄大な鶴見岳の眺め！



外来診察室





スタッフステーション

高性能な
放射線治療が
可能です



手術室

バリアン社製放射線治療装置

高エネルギー X線および電子線を用いて、全身の主に悪性腫瘍に対する治療を行う装置です。短時間で治療を行うことができ、治療中の体動や腫瘍位置変動の低減、患者への心理的負担の軽減が可能です。



特別室



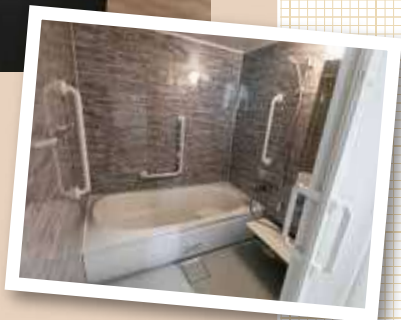
MRI装置 MRIはX線を用いずに、高磁場とラジオ波を駆使して任意の断面像を描出する装置です。3.0テスラ（静磁場強度）の高磁場装置で非造影MRAを行っています。

内視鏡検査装置

Olympus社製の最新機器であるevisx1cv-1500を導入しています。



特別室も5タイプ
ご用意しています。
(写真は特別室A)



九州大学病院別府病院 外来診療案内

2024年7月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ感染症内科 (新患予約制)	三 苫 弘 喜 土 井 吾 郎	三 苫 弘 喜 土 井 吾 郎	三 苫 弘 喜 押 領 司 大 助 團 塚 裕 子	病 棟 回 診 日	三 苫 弘 喜 押 領 司 大 助 團 塚 裕 子
	腫 瘍 内 科 (新患予約制)	是 石 咲 耶	是 石 咲 耶			是 石 咲 耶 小 熊 俊 輝
	循 環 器 内 科 (新患予約制)	甲 木 雅 人	戸 伏 倫 之 甲 木 雅 人	戸 伏 倫 之 甲 木 雅 人	病 棟 回 診 日	甲 木 雅 人
			午後 心血管カテーテル 検査・治療日		午後 心血管カテーテル 検査・治療日	
外科	消 化 器 内 科 (新患予約制)		藤 岡 審	藤 岡 審	病 棟 回 診 日	藤 岡 審
	一 消 化 般 管 門	三 森 功 士 米 村 祐 輔 大 津 田 康 雄	三 森 功 士	三 森 功 士 米 村 祐 輔 大 津 田 康 雄	三 森 功 士	三 森 功 士
	手 術 日				手 術 日	手 術 日
整形外科	肝 ・ 胆 ・ 膵	米 村 祐 輔		米 村 祐 輔		米 村 祐 輔
	乳 腺	三 森 功 士 安 東 由 貴	三 森 功 士	三 森 功 士 安 東 由 貴	三 森 功 士	三 森 功 士
	手 術 日		手 術 日	手 術 日	手 術 日	手 術 日
婦人科	整 形 外 科 (完全予約制)	手 術 日	熊 丸 浩 仁 貴 島 真 吾 吉 崎 良 広 伊 東 大 輝 濱 中 雄 介	手 術 日	播 谷 勝 三 貴 島 賢 吾 吉 崎 真 吾 伊 東 良 広 中 川 雄 介	播 谷 勝 三 熊 丸 浩 仁 濱 中 大 輝 中 川 雄 介
	婦 人 科 腫 瘍 (完全予約制)	手 術 日	園 田 顕 三 島 田 直 未	園 田 顕 三 中 村 恭 子	手 術 日	園 田 顕 三 瓜 生 泰 恵
放射線科	女 性 ヘ ル ス ケ ア (完全予約制)		瓜 生 泰 恵	島 田 直 未		中 村 恭 子
	放 射 線 画 像 診 断	平 川 雅 和	甲 斐 聖 広	平 川 雅 和	平 川 雅 和	平 川 雅 和
共通	放 射 線 治 療	本 村 有 史	本 村 有 史		本 村 有 史	
	上 部 消 化 器 内 視 鏡	米 村 / 津 田	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 聖 広	米 村 / 津 田 / 藤 岡
	下 部 消 化 器 内 視 鏡	米 村 / 甲 斐	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	米 村 / 甲 斐 / 藤 岡
	E M R / E S D	甲 斐 聖 広	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡	甲 斐 / 藤 岡
	E R C P	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔	———	米 村 祐 輔
セカンドオピニオン		要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間 初診 8:30~11:00
再来 8:30~12:00 (予約の方は除く)
※但し土日、祝日は休診(急患は除く)
代表電話0977-27-1600

地域医療連携室へ
お電話ください

- 整形外科・婦人科 … 完全予約制
- 内科：リウマチ感染症内科・腫瘍内科・循環器内科・消化器内科 … 新患予約制
- 放射線治療 … 初診 8:30~11:00

問合せ先
ご案内

地域医療連携室より

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼
放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。
依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました
先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼
地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する
緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が
少なくなるよう配慮させていただきます。

◆その他、外来・入院に関する お問い合わせ ☎ 0120-272-518(専用) 月~金 8:30~17:00
TEL: 0977-27-2055(直通) FAX: 0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.32



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546番地
代表 TEL 0977-27-1600
URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>